

第7回ITER理事会結果概要



平成22年11月30日
文部科学省



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY

第7回ITER理事会の主な出席者

日程:2010年 11月17日(水)ー18日(木)

場所:フランス(カダラッシュ)

議長:エフゲニー・パブロビッチ・ベリホフ ロシアクルチャトフ研究所総裁

出席者:

日 本: 森口 文部科学審議官 他

欧 州: スミッツ 欧州委員会研究総局長 他

米 国: ブリンクマン エネルギー省科学局長 他

ロシア: ボロフコフ ロシア連邦政府国防産業委員会機関長 他

中 国: ツアオ(CAO) 科学技術部副部長 他

韓 国: キム(KIM) 教育科学技術部副次官 他

インド : グローバー 原子力庁政策部長 他

ITER機構: 本島 機構長 他



第7回ITER理事会の主な議題

- (1)開会挨拶(議長、各極代表、機構長)
- (2)ITER機構活動報告
- (3)諮問委員会等からの報告
- (4)コスト削減と抑制
- (5)ITER機構の財務案件
- (6)運営評価
- (7)その他



第7回ITER理事会の結果概要(1)

ITER機構からの活動報告

○ ITER機構より、主に、以下の事項について報告。

- ・ITER機構職員状況

(2010年10月末時点で計463名<うち専門職員(P)296名、支援職員(G)167名>、このうち日本人専門職員数は24名)

※)前回理事会の報告時、2010年5月末時点で、計457名(P300名、G157名)
このうち日本人専門職員数は24名

- ・調達取決め(Procurement Arrangement;PA)の締結状況

(これまで、合計46のPAが締結された。PA全体の約60%を締結。)

- ・予算及び財務(2010年執行報告、2011年～2013年予算計画等)



第7回ITER理事会の結果概要(2)

コスト削減・抑制

- コスト削減・抑制について、ITER事業及びITERの性能に与える影響に関する検討を踏まえITER機構より提案。
- 建設コストを削減した分(約200億円)を追加資源(予備費)に回す提案が出され承認。

運営評価

- ITER協定に基づき、2年に一度、ITER機構の運営の評価を実施。昨年(2009年)第1回を実施しており来年(2011年)に第2回の評価を実施。第7回理事会では、第2回運営評価のスコープを中心に議論。
- ITER機構が新体制となって間もないため包括的評価は十分期間が経ってから評価すべきとされ、今回の評価スコープは、前回の運営評価の指摘事項の反映状況等に絞って評価されることが提案され、全極合意。



第7回ITER理事会の結果概要(3)

今後のスケジュールについて

- 平成23年6月15日、16日に第8回理事会を日本で開催することに合意。



＜第7回ITER理事会の会場風景＞

ITER本部建屋 定礎式典、現在のサイトの状況



理事会外にてITER本部建屋の建設開始の式典を開催。
写真左から2番目より、本島機構長、印・グローバー原子力庁
政策部長、日・森口文部科学審議官、中・ツァオ科学技術部
副部長、露・ボロフコフ国防産業委員会機関長、
韓・キム教育科学技術部副次官、EU・スミッツ欧州委員会
研究総局長、米・ブリンクマンDOE科学局長、ベリホフIC議長

2010年10月現在のサイトの状況。
柱状の建築物はコイル建造建屋の基礎。



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN